Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第82回（11/11）　沖津進先生推薦　ブックガイド

※掲載されている本はL棟2階　あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

生態学（ベーシックマスターシリーズ）

著者：南佳典, 沖津進共編　出版社：オーム社

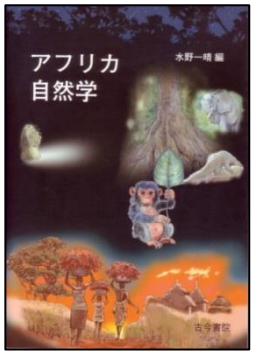
コメント：生態学の様々な調査・研究の場面で、自然環境やそこで起こる現象を的確に捉える“眼”を養うことの必要性を訴えることに重きを置いた書。単に読んで知識を得るだけの書籍に留まらず、実際にフィールドに持ち出し、フィールドワークを行う際の有効な手引書である。

Book2

アフリカ自然学

著者：水野一晴編　出版社：古今書院

コメント：日本で初めてアフリカの地形、地質、植生、土壌など、自然に関するまとまった専門書。各著者が：１．それぞれの研究がどのような着眼点のもとに始められたのか、２．その自然の不思議さをどのように解明していったのか、３．その研究で社会にアピールすることは何なのか、の３点について共通で論じている。

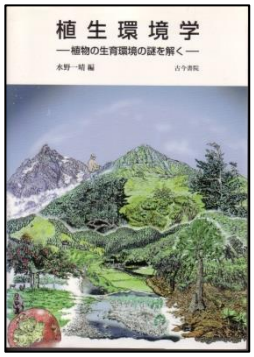


Book3

植生環境学：植物の生育環境の謎を解く

著者：水野一晴編　出版社：古今書院

コメント：植生に主眼をおき，植生分布と環境との関係を、13名の研究者が合計17テーマについて記述したもの。各テーマは疑問－研究の動機－謎解き－研究の必要性、の流れで、統一的に記されている。各テーマともにフィールドでのオリジナルデータが主体で、新鮮な内容である。植生地理学に関心がある者にオススメの書。



Book4

図説日本の植生

著者：福嶋司, 岩瀬徹編著　出版社：朝倉書店

コメント：旧著『図説　日本の植生』を、現在の植物的自然の破壊を視野に入れて、全面改稿した書。日本列島に分布する代表的植物群落について、その生態と分布を平易に解説してある。現在植生学の第一線で活躍している現役研究者がそれぞれ得意の群落について執筆しているので、研究の到達点を知る上で有効である。カラー写真がふんだんに盛り込まれ、植物群落の様子が視覚的によく実感できる。生態学の様々な調査・研究の場面で、自然環境やそこで起こる現象を的確に捉える“眼”を養うことの必要性を訴えることに重きを置いた書。単に読んで知識を得るだけの書籍に留まらず、実際にフィールドに持ち出し、フィールドワークを行う際の有効な手引書である。

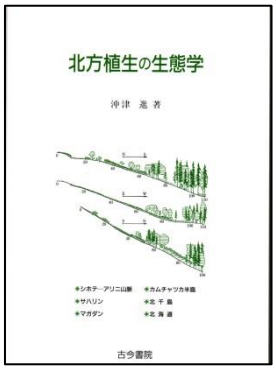
※掲載されている本はL棟2階　あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book5

北方植生の生態学

著者：沖津進著　出版社：古今書院

コメント：ウラジオストク解放（1992年）以来10年以上にわたって極東ロシアで植生調査を行ってきた成果を集大成した書。シホテ－アリニ山脈、サハリン、マガダン、北千島、カムチャツカなどの植生状況はこれまで日本ではほとんど知られていなかったが、豊富なフィールド写真と調査データで手に取るようにわかる。北海道の植生との比較植生地理学的考察は類例をみない。



Article1

FACTORS CONTROLLING GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION IN SAVANNA VEGETATION IN NAMIBIA

著者：OKITSU Susumu

掲載誌：African study monographs. Supplementary issue. 30, pp. 135-151, 2005

Article2

Vegetation structure of the biomes in southwestern Africa And their precipitation patterns

著者：OKITSU Susumu

掲載誌：African study monographs. Supplementary issue. 40, 77-89, 2010

Article3

アフリカナミビアの半乾燥地における, 牧畜業の基盤としてのサバンナ植生景観の違いをもたらす要因

著者：沖津進

熱帯農業 49(5), 341-345, 2005

Article4

アフリカナミビアの半乾燥地におけるサバンナ植生景観の違いをもたらす要因と過放牧による低木の拡大

著者：沖津進

日本緑化工学会誌 39(2), 282-286, 2013

掲載論文は全て
【Webで読めます】

①CiNii Articlesを開く
②検索ボックスに論文のタイトルを入力し、検索後、下記のボタンのうちで該当するものをクリックしてください。
・機関リポジトリで読む・さがす
・J-stage
・CiNii PDF